

内山貞三郎 うちやま せいざう ドイツ文藝者、文藝博士。明治二十九年二月四日新潟縣柏崎生れ（一八六一）。第一高等學校を経て、大正九年東京帝國大學文科大學獨乙文學科卒。爾後山口高等學校、姫路高等學校、第二高等學校各教授、戦後は大阪大學、關西大學、京都外國語大學各教授兼任。この間、大正十四年歐米留學、昭和二十八年シエム・ゲレーン協會よりゲーテ賞牌教授。

譯著書に、『イゾルデ・クルツ作コノロレンス物語』（譯、昭和十六年二月五日朝文堂書活）『ドイツ女流作家叢書』（、コドイツ文學に於ける悲劇性とその研究』（合著・日本獨文學會編、昭和二十四年五月二十日朝文堂書活）、『ゴッロツク時代の先驅者たち』（昭和四十八年四月一日三修社）等。

バロック時代の先驅者たち

内山貞三郎 著

三修社